

進路だより

令和4年7月25日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

進路指導部

中学部 前期校内実習



6月6日～17日の10日間、今年度初めての前期校内実習が行われました。1年生にとっては初めての実習で戸惑う様子も見られましたが、徐々に慣れて、毎日時間いっぱい作業に取り組みました。2・3年生は、作業はもちろん、各作業班のリーダーや朝会・結団式の進行等、様々な役割をこなし後輩の手本となるように頑張りました。最終日には校内で合同販売会を行い、各班で一生懸命作った製品が一つ売れる度に喜んでいました。努力した分だけ成果として表れた、とても充実した2週間となりました。

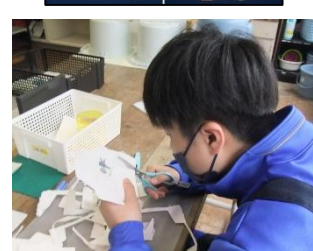
家庭班

午前中も午後も、静かに机に向かって製作…
みんなの集中力もアップしていき、販売会までに
たくさんの刺し子ふきんを作りました！



紙工班

パルプ液作り→紙すき→プレス→アイロン…みんな
で協力して紙作りをしました。できた紙を付箋や
コースター等に加えし、素敵な製品ができました！



合同販売会

家庭班「とらまいゴーゴー5(ファイブ)」、紙工班「紙工房
あんこ」がオープン！大きな声で挨拶したり、おすすめの製
品を紹介したり、元気よく接客を頑張りました！



高等部 前期実習

6月6日～17日の10日間、前期校内・現場実習が行われました。1年生は校内実習で「みんなで声をかけ合い、協力して安全に作業する。」を学年目標に、釜石球技場の環境整備、すいひ作業、さし子など終日時間いっぱい作業に取り組みました。実習報告会では「先生に言われてから声をかけることができました。安全に作業することができたが、危険なこともありました。次からはまわりを見て安全に作業します。」と振り返り、働く上で必要なことや自分の課題について知ることができました。

校内実習



釜石球戯場環境整備 <ベンチ清掃、松ぼっくり・松葉拾い>



紙ちぎり



すいひ作業



さし子



シュレッター作業



現場実習

2・3年生は近隣の事業所で現場実習をさせていただきました。2年生は初めての現場実習で緊張や不安もありましたが、無事やり遂げることができました。3年生は卒業後を見据えた実習ということもあり、一生懸命取り組みました。今回の実習で見た課題や自分の適性などを踏まえ、後期の実習に向けて日々の生活を大切に取り組んで行きましょう。各事業所、ご家庭の皆様のご協力ありがとうございました。



フジ電子工業



釜石市福祉作業所



わらび学園



つくし共同作業所



夢工房・カトレア



ワークフォローおおつち



まごころ就労支援センター



かまいしワーク・ステーション

※ 紙面の都合により全員を掲載することができませんでした。他の生徒の様子は、後期現場実習後の進路だよりに掲載いたします

小・中学部 進路学習会

5月25日(水)に小学部、6月20日(月)に中学部の保護者向けの進路学習会が行われました。

小学部では、中学部の生徒が作業学習に真剣に取り組む姿を見学してきました。中学部では、高等部入学までの流れや主な福祉サービスについての理解を深めました。

小学部や中学部のうちは、進路はまだまだ先と感ずることもあるかもしれませんが、毎日の生活が進路に繋がります。



小中学部のうちに できるようになってほしいこと

実は**毎日の生活そのもの**が進路です！

①体力を

つけましょう！



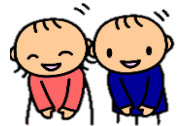
きちんと食事を摂り、運動をして、「身体づくり」をしましょう。

②基本的な 生活習慣を 確立しましょう！



早寝早起きをして、決まった時間に登校することを目指して、少しずつ取り組みましょう。

③コミュニケーションが とれるように なりましょう！



特に、「挨拶」が大切です。元気な挨拶を日頃から練習しましょう。

* * 中学部事業所見学 * *

6月22日(水)と24日(木)に中学部事業所見学が行われました。22日は知的通常・知的重複学級の生徒たちが「かまいしワーク・ステーション」と「わらび学園」に、23日は病肢通常学級の生徒たちが「かまいしワーク・ステーション」と「SMC 株式会社」に見学しに行きました。それぞれの事業所の概要説明を聞いたり、利用者さんが実際に働いている様子を見たりすることで、高等部卒業後の生活についてイメージを広げることができました。また、それぞれの事業所では疑問に思ったことを質問することで、仕事の種類や働く上で気をつけていること、仕事に臨む姿勢や態度等を学ぶことができました。実際に見て、聞いて、感じて…将来に結び付いた、とても有意義な経験となりました。

かまいしワーク・ステーション



作業日程や工賃等の説明を聞いた後に、菓子科・部品科等の作業を見学させていただきました。

わらび学園



主にパン作り、ダンボールの組み立て作業、木材のやすりがけ等の様子を見学させていただきました。

SMC 株式会社(釜石工場)



たくさんの方が、それぞれの持ち場で部品の製造に取り組んでいる様子を見学させていただきました。



質問コーナー

～保護者の皆さんから寄せられた質問にお答えします～



Q 1 学年が上がる毎に、進路相談は何回できる？ 年に〇回など…

A 各学部年 2 回の進路学習会を開催しています。それ以外でも何回でも相談できます。担任へ相談いただき、お答えできない内容であれば、日程を調整していただき進路部が対応させていただきます。直接、進路部長のいる高等部へ来ていただいてもいいのですが、外回りをしていることが多いので不在の場合があります。直接、お電話で日程を調整していただくと確実です。

Q 2 支援学校に通っている子で、一般就労を考えている人はどれくらいいる？

A 小学部 1 年生から支援学校に通学していたお子さんで一般就労した方もいらっしゃいます。また、卒業時に就労継続支援や就労継続 B 型を利用していた方の中にも、数年後に一般就労している方もいらっしゃいます。

Q 3 これから受けられる制度は何かある？



A 個人ごとの相談になると思いますが、例えば、「特別児童扶養手当」や「放課後等デイサービス」を利用できる可能性があります。

○特別児童扶養手当：児童の福祉の増進を図ることを目的とした手当です。
障がいの程度や所得により利用できない場合があります。
市町村の福祉課へ相談してください。

○放課後等デイサービス：放課後や行事の代休、土曜日、祝日、長期休みなどに利用できます。
所得により、利用料が発生します。
市町村の福祉課や相談支援事業所へ相談してください。

学校でも手続きや連絡調整等のお手伝いをします。上記以外にも、様々なサービスを利用できる可能性があります。「こんなことはどうだろう??」と思うことがありましたら、遠慮なくご相談ください。



就労継続 A 型、B 型、グループホームへの入所に関する話をもっと聞きたい。

Q 1 の回答を参照ください。また、事業所を理解するには見学することが一番です。PTA 研修会で、2 か所ずつの事業所を回っています。毎年、20 人前後の保護者の方が参加してくださっています。

事業所の情報は、本校ホームページの進路指導—事業所情報のところをご覧ください。そして、見学のご希望があれば、担任にお伝えいただければ調整させていただきます。



将来のことや進路のことを考えると不安になることもあると思います。いつでも相談してください。不安はなくなるかもしれないかもしれませんが、少しでも減らすことはできると思います。ご相談を、お待ちしております。





！かまいしワーク・ステーション(就労移行支援)で頑張っていた福士一真さん(R元年度卒)が一般就労したといううれしいニュースが届きました。(一部抜粋)

かまいし ワーク・ステーション だより



社会福祉法人 翔友
岩手県釜石市鶴住居町
第25地割13番地43
TEL: 0193-55-6031
FAX: 0193-55-6032

～ 2022年(R4)7月号 No.130～

就職おめでとうございます！！

就労移行サービス利用の福士一真さんが、めでたく就職することになりました。

6月から宮古市にある有限会社宮町電子第2工場での勤務です。今年の2月から職場実習でお世話になっていましたが、本人の頑張りが認められて大変嬉しく思います。

福士さんの成長をまだ見守りたい気持ちもありますが、就職希望を叶えた喜びを共有して、これからも応援します。



面接当日、少し緊張しています。

自治会より就職祝いが贈られました。



【福士一真さん】

ワークでの思い出…2年間様々な作業をし、楽しい日々を過ごせました。本当にありがとうございます。

就職に向けて…色々大変かもしれませんが、元気良く明るく働いていきたいと思います。

【山崎業務課長より贈る言葉】

作業では注意される事が多かった福士さんでしたが、実習等を重ねるうちに責任感が出てきて、以前とは違う感じになってきました。これからは大変だと思いますが、がんばってください。



重要！



卒業するとき福祉的就労(就労移行支援、就労継続支援B型)の方も、力がついてくれば、一般就労する道があるということです。